



マスクが次第に外れてゆきながら、1年後、PTAもあれこれ変わった／変わっている。
モヤモヤは残さず、面白かった、充実していたと振り返ることのできる1年にしよう。
そして、大きな自信と、よりよい将来の確信とをみなぎらせて、令和6年度に託したい。

(1) 「分かりやすいPTA」 ～初めて小学校に関わる、会員となられる親御さんにも伊賀良小PTAを分かりやすく伝えるために

- ① 事業計画（案）の刷新 : **各事業・活動の意義**を添え、これに従い表現を整理
- ② 会員向け広報の強化 : **学校ホームページ**の最大活用+ **PTAだより**の配信拡大

(2) 新事業の実施 ～飯田市及び飯伊連合会PTA役員の輪番派遣（副会長）が無い年度から、また、将来の環境変化に対応してゆけるようにするために

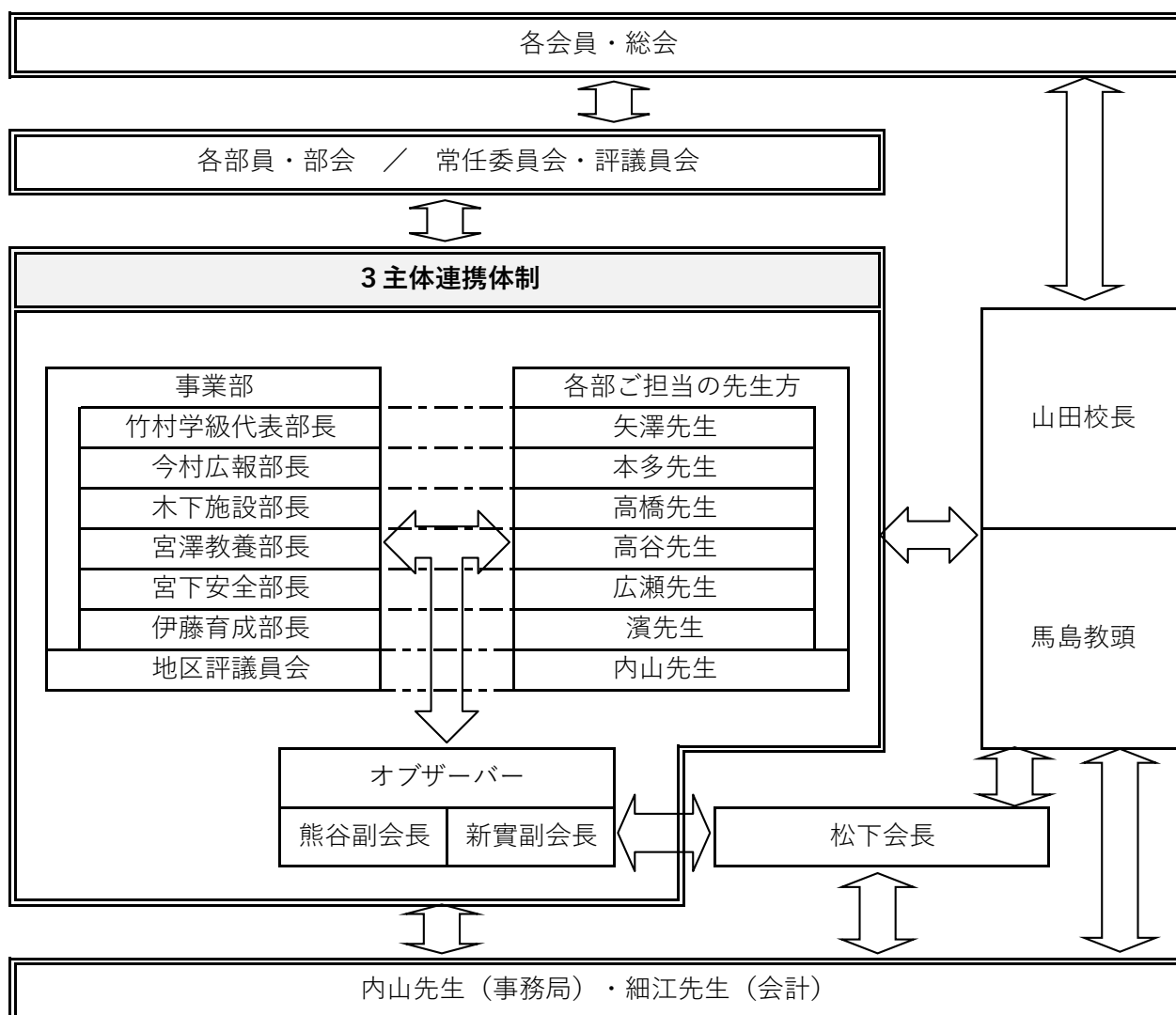
本部	多くの方に周知し、参加しやすい伊賀良小PTAを目指す取組み ・伊賀良小PTAの活動説明（新實） 児童数・世帯数の減少など内外の環境変化と将来の見通しを踏まえた取組み ・諸事業、組織、規約などの改廃・見直しの検討（松下） ・参加しやすい評議員会・総会等（リモート、オンライン会議システムの活用等）の検討（新實） ・PTA活動の維持継続に必要な人員確保と相互協力態勢（ボランティア募集、地域の力の活用等）の検討（熊谷）
広報部	広報活動・情報発信の充実・見直しを目指す取組み ・広報誌作成プロセスの効率化、負担等軽減の推進 ・広報誌発行を主体とする広報のあり方の見直し ・ホームページ、SNS等の活用の検討
施設部	学校施設の整備に係る見直しの支援・協力の取組み ・環境整備作業の除草処理・廃棄方法の見直し（埋設処理の中止等）

※ 上記のほか、継続的な改善、実質的な新規事業となる活動を目指し、取組みます

(3) 副会長の部門担当制 ～本部と各部のハブ&見直し推進役、学校その他との調整を委任します
機動性を高めるとともに、情報共有、事業や活動の推進力を高めます

熊谷副会長		新實副会長	
○教養部	①各部長と連携を取り、共に考えながら、「ボランティア」「地域参画」の導入による改善も検討 ② (※) 地区評議員オブザーバー (新實副会長) の補佐	○学級代表部	①HP、GoogleForm、オンライン会議などを特に一緒に ②地区評議員や学級代表、先生方の声をできるだけ耳を傾け、集めてゆきたい
○施設部		○広報部	
○安全部		○地区評議員	
○育成部		(※)	

(4) 3主体連携体制の回復・充実 ～企画・段取り・準備・作業、より有機的に、機能的に
活動をリードする各部長、担当の先生、副会長の緊密な連携



※ この外、運営円滑化のため、会長主催による「連絡会議 (仮称)」を組織し随時実施

(1) 熊谷副会長

熊谷	事業	総会、評議員会、常任委員会の運営 ① 議事調整・選定 ② 当日の司会進行 ③ 議事録の作成・発信
	庶務	会議の【3日前】LINEでのリマインド発信
	事業 ●	事業部オブザーバー【教養部・施設部・安全部・育成部】担当
	庶務 ●	各事業・イベント実施時の係員反省・参加者アンケートの指示・調整 LINE、Google Formの活用など、次に活かせるよう、漏れなく、使いやすく実施
	事業 ●	ボランティア募集、地域との相互協力等制度設計と導入の検討
	事業	資源回収の運営責任者（計画・調整・指示） 通知、開始煙火の準備(購入)・打上げ、当番酒販店依頼、回収業者打合せ等
	事業 ●	地区評議員オブザーバーの補佐
	事業	【今年度なし】飯田市or飯伊PTA連合会の当番役員としての派遣

(2) 新實副会長

新實	事業 ●	参加しやすいPTAの企画・推進（HP、オンライン会議など） 広報誌やPTAだよりの進化形、リモートカンファレンス体制構築など
	事業 ●	「伊賀良小PTAの活動説明（会）」の企画
	事業 ●	事業部オブザーバー【学級代表部・広報部・地区評議員】担当
	事業 ●	PTA活動に係る地区評議員の管掌～意見集約・調整 地区評議員とPTAの関係がやや希薄。各地区・各評議員の実態・思いの把握から。
	庶務	学校教職員とPTA役員との懇親会・交流会の企画・調整（年数回） 先生方と役員とのコミュニケーションをコロナ前水準に戻したい。飲食にこだわらない
	事業	家族ふれあいの日（わがやの結いタイム）の推進
	事業	会員・地域向け情報発信（PTAだよりの）
	事業	歓迎会、送別会の企画・調整 全会員対象。コロナ禍の3年間、ほぼ見送り。記念品も含め、要/不要の検討から。

(3) 松下会長

松下	事業	本会全体の調整
	事業	外部（地区、郡市PTA、その他関係者）会議ほか出席・連絡・調整等
	事業 ●	規約、組織、事業等の検討・見直し（立案） 評議員会・総会の役割、地区割・評議員数ガイドライン、立候補しやすい役員応募要件、 単年度予算指針（年度収支均衡）、会費削減に向けた取組み などに着手
	庶務 ●	学校連絡ミーティング／部長会（仮称）の企画運営 会長・副会長・教頭先生・事務局を基本メンバーとし、必要により部長・ご担当の先生 ・会計等を招集。学校とPTAの情報共有、取組み意思・ベクトル統一。随時開催。
事業	事業計画・予算の立案、執行状況の把握、活動記録、事業報告、決算報告	